

県大会決勝戦 戦 評 用 紙 (記録抄用)

大会名	令和7年度 第17回 三重県ヤングクラブバレーボール選手権大会 (兼) JVA 第28回全国ヤングクラブバレーボール大会三重県予選大会		参加数	男子 7チーム
期 日	令和7年6月14日	会 場	学校法人伊勢学園 伊勢学園高等学校 体育館	
戦 績	1位	gravis	3位	OZAKI FIGHTERS
	2位	LARKS	4位	ヴィアティン三重 U15 北勢
<u>gravis</u> $\left(\begin{array}{c} 25-18 \\ 28-30 \\ 25-20 \end{array} \right)$ <u>LARKS</u> 1st (川崎 忍) ・ 2nd (岡 祐輝) ・ SC/AS (森川 巧 ・ 山本晃大) 男子決勝は、令和5年度から2年連続優勝のラークスと、初優勝を狙うgravisの対戦となった。 両チーム共に日頃の練習の成果を発揮した熱戦を繰り広げた。 1セット目はgravisを初戦・準決勝とチームを勝利へと牽引した5番栗栖の活躍が光り25-18とgravisが取った。 2セット目はゲーム中盤、ラークス6番田口・7番加藤のスパイクと2番岡本のブロックが決まり、チーム持ち前の丁寧さ・粘り強さを発揮して1点を争う接戦となった。苦しい場面でキャプテン北畑の活躍もあり、ラークスが30-28と取り返した。 3セット目も序盤から点を取ったら取り返す手に汗握る接戦となった。 ラークスは中盤6番田口の活躍で連続得点勢いのままゲームが進んだ時に、gravisキャプテン砂内や3番岡井の活躍で1点1点と重ねた結果、25-20でgravisが悲願の初優勝となった。  戦評者名 (坂井 華津子)				
備考	1. 各種別、男女毎に戦評をする。 2. 戦評は250字程度でまとめる。 3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。			

三重県バレーボール協会